

# 2014年一文字ヨットクラブ会報 10月号



秋の爽やかな季節になってきましたが、台風が連続して来襲しています。

甲子園ヨットハーバーも10年以上を経過して、老朽化しています。

特に横付け桟橋は個人差があり、脆弱なところが見受けられ、早急に対処が必要な物もあります。横付け桟橋が外れると、ヨットに対しては凶器になります。個人桟橋は自己責任でお願いします。自己責任で自主管理をお願いしていますが、特別な事由によりハーバーに来ることが出来ない会員は担当委員長（泊地、施設管理）に連絡して下さい、御相談に応じます。

**「今年最強の台風19号が接近中です、貴方のヨットと桟橋は大丈夫ですか!？」**

## \*台風対策について：小山会長

8月10日、台風11号が 赤穂に上陸、最悪のコースを辿りました。

甲子園ハーバー内では波高最大1.5m、一面ハーバー内は白波が1.5時間も続きました。

桟橋の被害がかなり有ります、点検をお願いします、報告もお願いします。

この際みなさんのバウラインを新品に変えましょう。クラブでは16mm、18mmを販売しています。

メートル数に制限あります、お早めに。台風通過時のハーバーの状況をビデオ収録してあります

風は北風7m/s、だんだん東に振れる10m/s、波高0.5m・・・そして南東風、波が湾岸大橋から入りはじめ桟橋は歩けない。そして南風40m/s、波高2m、ホワイトスコール（潮風）で西宮大橋が一気に見えなくなりました。

ハーバー内のヨット、桟橋共に踊りだす・・・モヤイロープ切断のヨット、波に翻弄されるヨット(30f)・・・あと30分長く続けばハーバーはバラバラだったと思います。

後日、ハーバーを見に来られた方は何も無かったかのように「無事でしたね」・・・と帰られました。のんきな者です、仕方がない事ですが、ね!

ビデオに収録済、一部のクラブ員には送りましたが、総会には見てもらいます。

事前に拝聴したい会員はこのYouTubeにアクセスして下さい。 [http://youtu.be/1b0RT1\\_PSZI](http://youtu.be/1b0RT1_PSZI)

・・・台風11号の他のヨットハーバーの状況の情報を集めてみました・・・

大阪湾、クラブ近郊の情報です、甲子園ヨットハーバーでは 南風は防風林で防いでくれましたが風に伴う波は底揺れを伴う揺れでした。でも岸壁縦付けですので、ピッチングで逃げる事ができたと思いますが桟橋のジョイントボルトは次の台風には耐えられないと思います。

早急に交換の必要が有ります、又共通桟橋と個人桟橋のジョイント部分の穴が大きくなり補修の必要有ります。そして全艇のバウラインの見直しが必要です。

他のハーバーは、岸壁からの返し波が桟橋と艇とのローリングで艇と桟橋が共に痛んでます最悪です。

風も真面に入り、放ったらかし艇はダメージが酷いみたいです。西宮BPの横揺れはかなりだったと聞きました。桟橋の底に艇が潜り込む・・・艇の下に桟橋が潜り込むなど・・・。

・・・移動プロジェクトチームへ・・・

今回の台風の被害を教訓にして、より耐候性の強いハーバーを検討して頂きたい。

移動費用を安くしたい気持ちは判ります、でも安全は安いものでは有りません、ご理解下さい。

## \*移動プロジェクトチーム：黒岡リーダー

### 移動プロジェクトから現状と展望

尼管へは一文字ヨットクラブが移動する旨を伝えてあります。

よって、現状移動のタイミングを図っている状況ですが、移動プロジェクトとしては、移動隻数の確定を待って、本格的な設計・見積り段階に移行します。

勿論、様々な状況を考えながらシミュレーションを行っておりますが、現段階において公表できるものはないことをご了承ください。

前述の移動隻数の確定ですが、従前よりお伝えしてあるとおり、11月末日での「第一回移動経費振込」納期限をもって意思確認とさせて頂きたく、再度皆様にはご確認をお願いします。

尚、納期限前後に於ける混乱を避けるため、振込をためらっている・ヨットを続けるべきかどうかなど、忌憚のないご意見を「お早めに」合同委員長会にお申し付けください。

完全な解決に至るか否かは別にして、円満な解決方法の一助になると考えます。

一部のメンバーの皆様の中に「係留権」なるものの考え方がひとり歩きしているように仄聞しますが、これについて今回明確にお答えいたします。

移動プロジェクトメンバーが尼管を訪れた際、「一文字に係留する権利を付けて自身の船舶を譲渡しても良いのではないか？」と質したところ、「もっての他の暴挙である。一文字ヨットクラブに占水面許可を出している意味を考えて欲しい。【アマチュアヨットマン】が海洋レジャー・レクレーションを真正に普及させるためであるからこそ、厳しい市民の監視の目があっても尚、行政として一文字ヨットクラブを適法であると判断できる。」との回答を頂きました。

又、「もし、いわゆる係留権なるものを利益を得る目的をもって譲渡していることが発覚した場合、速やかに一文字ヨットクラブに対し監査を行い、最悪の場合、占水面許可を取り消すこともあり得る。」とのことでした。

尚、文中では表現しきれない部分もあろうかと思っておりますので、詳細は合同委員長会にお尋ねください。

今後のメンバーの取り得る行動を列挙すると以下のようなになるかと思っております。

- ① 拠出金を支払い、新泊地へ移動する。この場合の拠出金額の上限は既報のとおり 60 万円とする。  
第一回拠出金の金額は 20 万円、且つ、支払納期限は 11 月 30 日とし、これをもって移動の意思表示とする。  
第二回目以後の拠出金支払納期限は後報するものとし、移動に関して労務を惜しみなく提供するものとする。
- ② 静かに舵を置く  
速やかに新泊地移動時には自艇を譲渡し、以後一切の権利を申し立てない。
- ③ 他マリーナ・ハーバーへの移動。

速やかに新泊地移動時には自艇を他マリーナ・ハーバーへ移動させ、以後一切の権利を申し立てない。

例として、西宮ボートパークに移動させた場合（登録長 7.5m までとの制限はあるが）、年間係留料 18 万円となっています。

### 振込先の詳細

振込先金融機関名：三菱東京 UFJ 銀行 小阪支店

預金種類：普通

振込先名義人：イチモンジヨットクラブイドウプロジェクトチームクロオカギイチ

店番：415

口座番号：0104157

振込時の注意事項：摘要欄に振込人の**名前**を先頭に記載、続いて**艇名**を記載してください

## \*ハーバーに、漂う「燃えるごみ」について：上浦社会貢献活動委員長

毎週、月曜日(祝、含む)に ピンクの扉の外に、袋に入れて出すことを条件に、収集してくれるよう、西宮市の指定業者に、依頼したところです。

9月22日(月)から、収集開始で、経費は、10月～12月まで、月3500円(税別)×3か月

これは、今回、台風のごみ対策として、試行的に、ごみ回収を実施するもの。

・問題点を整理して、1月以降も必要ならば、総会に諮る。

・現在、クラブ行事等で、発生したごみの処理は、缶トリー作戦に便乗する場合と 大型車でこられた特定の人をお願いしています。

・特定の人に負担が集中している現状と会員の利便を勘案すると、月3500円の経費は、安いと思われませんが、来年度以降の契約には、総会での同意と利用者のルール厳守が必要です。

・この間、ルールが守れない人がでるなど、問題が発生したら、総会への提案は、見送りです。

運用ルールの遵守が不可欠です。

案内・注意事項(ゴミ出しルール)

### 【海面に漂うごみ処理について】

=10月～12月の月曜日に、燃えるごみを収集=

①ヨットの周りに漂う上記「燃えるごみ」については、必ずゴミ袋に入れて、ピンクの扉の外へ出す。

※ 燃えないごみを混ぜないこと。→ 追加料金が発生します。

「燃えるごみ」は、ペットボトル、プラスチック・ビニール、紙ごみ・生ごみ、木ぎれ(40センチ未満・5キロ未満)です。

※木切れについては、粗大ごみ認定とならないよう特に注意が必要。

②ヨットの周りの空き缶

自動販売機の横の箱に収集。 → 自動販売機契約会社に依頼(無料)、ただし、ゴミ袋にて整理しておく必要あり。

③大型のごみについては、粗大ごみ扱いとなり、業者による無料収集は、不可。

引き上げた場合は、ハーバー内の指定場所へ。 → 尼管と要交渉

④その他 個人ごみについては、持ち帰りが原則ですが、多量に、生ごみなど「燃えるごみ」が発生した場合は、期間中 45リッター程度のごみ袋に入れて、出すことを可とします。

…… 燃えないごみを混ぜないこと。→ 追加料金が発生します。

## \*クラブの活動行事

・社会貢献活動：体験乗船会/担当 上浦

5月11日(日)

西宮市児童養護施設「三光塾」の子供たちが、

13名(指導者3名含む)で、クラブに訪問。

協力艇

ゆうばれ、ラムソール、ウインドミル、レスキュー

6月8日

西宮市のボーイスカウト隊が、クラブを訪問。

約20人

国旗儀礼ののち、クラブ周辺の空き缶ひろい・昼食。

12時30分ごろより、セーリング体験。

協力艇

ゆうばれ、ラムソール、ウインドミル、はてな





6月22日(日)

大阪市のボーイスカウト隊、約30名(小学生と大人指導者)が、11時頃、訪問。

協力艇

ゆうばれ、ラムソール、ウインドミル、はてな



・共同作業/担当 横尾、高橋

5月18日(日)

春の共同作業: 棧橋塗装



10月5日(日)

秋の共同作業(臨時); 台風の影響物の撤去など  
午後は移動に関するミーティングを開催しました。

(写真)



・クラブ合同クルージング/担当 漆川

6月14-15日(淡路島・洲本港)

クルージングに参加頂きました皆様、大変お疲れ様でした。好天に恵まれ、洲本港に7隻(ゆうばれ、TOM、ラムソール、ウインドミル、マーチ、ドリーマー、シーサー)、26名のクラブ員らの皆様にご参加頂きました。午後6時からの親睦会も大いに盛り上がり、クラブ員相互の絆を深めることが出来ました。

有難うございました。またよろしくお願ひ致します。



9月13-14日（淡輪ヨットハーバー）

YOUTUBE

今期最高のクルージング日和になり、合計8艇（ゆうばれ、イマジン、トム、ウィンドミル、スプラッシュ、マーチ、ドリーマー、みほ）、30名の方に御参加を頂きました。

<http://youtu.be/MSS-YKYBV3I>

御参加頂きました皆様大変有難うございました。

・クラブの夏祭り/担当 夏祭り実行委員会：小山、高橋、（児玉/ワッペンとお知らせハガキ）

今年も晴天に恵まれて、盛大に行われました！

子供たちが大勢来てくれたのはうれしいことです。

YOUTUBE

<http://www.youtube.com/watch?v=eJJcVDOZDJs>



**\*クラブ帆走会のお知らせ：漆川運営委員長**

10月26日（日）の帆走練習会

スケジュール

艇長会議	9時30分
スタート予定	10時30分
タイムリミット予定	14時30分
親睦会予定	15時00分～

親睦会は帆走練習会に出なかったクラブ員の方も、自由にご参加下さい。

なお、雨天、荒天時は帆走練習会、親睦会も中止とします。

**\*艇種変更のお知らせ**

TAM 正会員：横尾さん

準会員：為廣さん

1D35→A（アーシャンボア）40



## \* のり、わかめ養殖漁場図：児玉広報委員長

今年も兵庫県漁連より、「のり、わかめ養殖漁場図」の申請書が届いていますが、昨年と同様で、在庫が多数残っていますので申請していません。ご希望の方はクラブハウスにありますので自由にお持ち帰り下さい。

尚、PDF形式でも閲覧出来ます。(下記URL) →「兵庫県漁連」のHPを開き、「のり養殖漁場環境」をクリック、瀬戸内海の「のりわかめ等」の全体図をクリック。 <http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren/>

## \* 白井安全委員長より

他クラブの関係者を含む、今年お聞きしたクルージング中のトラブル等を、経験した方も多いと思いますが、ご参考になればと、記事にしました。

- 1、5艇でクルージング中、室戸沖で集魚用の浮遊筏ロープがプロペラに絡み、他艇同乗のプロダイバーに除去してもらった。
  - 2、豊後水道で海藻（ホンダワラ）が絡み乗員が潜り除去した。
  - 3、淡路沖でのり網にわずかに接触・・・ウン十万円を支払った。
  - 4、曳航される3件の内、1件は我艇（冷却ポンプの故障）、1件は（衣類の絡み）、1件は（インペラの摩耗）。
  - 5、紀伊水道荒天航行中、外側サイドスティが根元より外れ、上部マスト破損。
  - 6、淡路北側漁港に係留したところ、「ここは避難港でない」と漁師から言われ他港に係留替えをした。
- 以上詳細に天気予報の収集・航行中は見張りを厳とし無理せず安全航行に努めましょう。

上記以外で今年の事故例を・・・(児玉広報より)

・佐渡沖で新潟のヨットが落水事故(8/15)・・・3人(男2、女1)で強風の中を佐渡に向けてクルージング中、スターンパルピット付近にいた男2人が落水、錆びていたライフラインが2人の体重を支えきれず切断されてしまった。女1人では操船できず、後方を走っていた僚艇が国際VHFで海保に救助を要請(ヨットでは近づけない波だったので)、ライフジャケット着用の2人を救助、ヨットは曳航されて帰港。

・舵10月号でも載っていますが元470世界チャンピオンの甲斐幸氏(佐渡出身)が江の島でスナイプ級レース中に突然意識不明になり、落水。すぐに引き上げられたが、すでに心肺停止状態で他界(7/12)。

・島根半島沖で新艇37ftヨットのラダーシャフトが途中まで抜けて中ブラになり、近くの漁協に救助要請、漁船に曳航されて漁港に、岸壁には「消防車」が待ち構えていた！？・・・オーナーは「舵が落ちた」と連絡・・・聞き手は「火事が起きた」と・・・！？ (笑い話ではなく本当の話/5月・・・ そのオーナーと8月に函館でお会いしました)

## \* 長距離クルージングのおススメ・・・コントロール・児玉

初めてヨットのオーナーになった頃を思い出してみして下さい、誰も少年のような冒険心がわき出て遠くへ旅をしてみたいと思ったことでしょう。

長距離航海で一番必要なのはその冒険心と海に飛び出すチョツとした勇気、そしてお金では得られない時間です。

シニアの皆様、すばらしい世界が待っていますよ！

日本を周航するクルージングは日々の沿岸クルージングの積み重ねでヨットオーナーなら誰でもチャレンジ出来ます。

海から眺める日本のすばらしい景観、温泉と地魚、地酒・・・そして地元の漁師さんやヨットマンの温かい歓迎・・・

初めての港に入港する時のわくわくドキドキの胸の鼓動・・・・・・一度始めたら病みつきになってしまいますね！！

(ブログ:「こんとれ～るの日本周航記」・・・全国の泊地情報もあります)